

器48 注射筒

一般医療機器

注射筒キャップ 16825000

注入器カバー

再使用禁止

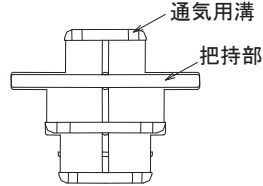
【禁忌・禁止】

●再使用禁止

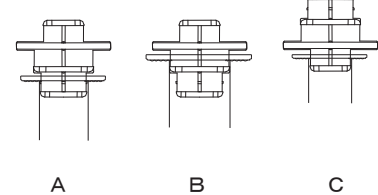
【形状・構造及び原理等】

＜構成＞

○部位名称



○装着パターン



注入器カバーと注入器サイズ及び装着パターン

型式	装着できる注入器	装着パターン
小	JMS 注入器 2.5mL	A
	JMS 注入器 5mL	B
	JMS 注入器 10mL	C
大	JMS 注入器 20mL	C
	JMS 注入器 30mL	A
	JMS 注入器 50mL	B

【使用目的、効能又は効果】

注入器（先端が静脈ライン等のメスルアーテーパーに接続できない誤接続防止形状を有する経腸栄養剤、医薬品等の注入等を行なう注射筒）の後端を被覆する器具であり、開放部を外部の汚染から保護する。

【操作方法又は使用方法等】

1. 包装から本品の把持部を持って取り出します。
2. 注入器外筒（押し子がない状態）の後端部（フランジ）に本品を装着します。
3. 使用後は本品の把持部を持って注入器から外します。（本品の把持部の片側を下から指で押し上げると容易に外れます。）

使用方法に関連する使用上の注意

- 本品は複数のサイズの注入器と装着できる構造であることから、予め注入器との装着部を確認し、使用すること。
- 本品を注入器に装着した後、注入器を吊るして使用する場合は、本品にひも等を掛けて使用しないこと。〔装着部が外れる可能性がある。〕
- 注入器を傾けて使用する場合、栄養剤が漏れる可能性があるので栄養剤が本品に触れないように注意すること。
- 固形物を含む栄養剤や固まりやすい栄養剤を使用する場合は、本品の通気用溝が詰まる可能性があるので注意すること。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
 - 包装を開封したらすぐに使用すること。
 - 包装が破損、汚損している場合、及び製品に破損、変形などの異常が認められる場合は使用しないこと。
 - 本品は「JMS 注入器（医療機器届出番号34B1X00001000009）」以外の注入器に使用しないこと。〔他社製の注入器とは装着部

の寸法が異なることから使用できない。〕

- 本品を鉗子等でつまんで傷をつけないこと。〔破損が生じ、嵌合できなくなる可能性がある。〕
 - 栄養剤は注入器の公称容量目盛以上入れないこと。〔本品との装着時に栄養剤があふれる。〕
 - 本品は注入器内への異物の混入を防ぐものであるので、注入器内の無菌性を保持する目的で使用しないこと。
 - 本品を栄養剤等の長期保存の目的に使用しないこと。
2. その他の注意
- 使用後は感染防止に配慮して安全な方法で処分すること。
 - 外した注入器カバーは患者等が誤飲しないように注意し、直ちに廃棄すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法
 - 水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。
2. 使用期限
 - 箱の使用期限欄を参照すること。〔自己認証(当社データ)により設定〕

【包装】

- 小 20個入／箱
- 大 10個入／箱

【製造販売業者及び製造業者の名称及び住所等】

製造販売元及び製造元
株式会社ジェイ・エム・エス
広島市中区加古町12番17号
郵便番号：730-8652
電話番号：082-243-5806